



# 熊本県感染症情報(7月30日～8月5日)



KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	1	百日咳	1	0
RSウイルス感染症	0	0	ヘルパンギーナ	160	222
咽頭結膜熱	36	41	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	30	34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	41	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	190	225	流行性角結膜炎(はやり目)	25	28
水痘	31	25	細菌性髄膜炎	0	2
手足口病	12	20	無菌性髄膜炎	1	1
伝染性紅斑(りんご病)	1	5	マイコプラズマ肺炎	5	3
突発性発しん	48	36	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ ヘルパンギーナ
- ☀ 突発性発しん

- 感染性胃腸炎は、報告数 190件(前週報告数 225件)と減少した。地区別では、有明、人吉、八代に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 35件を最多に幅広い年齢層からの報告である。
- ヘルパンギーナは、報告数 160件(前週報告数 222件)と減少した。地区別では、天草、水俣、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 51件を最多に 9歳以下からの報告である。
- 突発性発しんは、報告数 48件(前週報告数 36件)と増加した。地区別では、菊池、水俣、天草に多く報告がみられる。年齢別では、6～11ヶ月齢の 24件を最多に 3歳以下からの報告である。

## ◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所			11	7	37	14	4	1	21		39	6		22		1	3	
山鹿保健所					3		1		1		4		*	*				
菊池保健所			21	1	20	2	2		6	1	13	1		3				
阿蘇保健所					2								*	*			1	
御船保健所					3								*	*				
八代保健所				2	22	11			1		9							
水俣保健所					1				3		11		*	*				
人吉保健所			1	4	17				4		1		*	*				
有明保健所					56	3	1		5		13	7						
宇城保健所				5	16	1			1		9	6						
天草保健所			3		13		4		6		61	10					1	
計	0	0	36	19	190	31	12	1	48	1	160	30	0	25	0	1	5	0

## ◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	36		3	2	2	5	4	12	1	4			3									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19			1	2	4	4	2	1	2	1	1	1									
感染性胃腸炎	190	7	25	35	18	18	23	14	5	13	2	5	17		8							
水痘	31	1	5	7	11	3		3	1													
手足口病	12		3	2	2	1	2			1				1								
伝染性紅斑	1				1																	
突発性発しん	48	3	24	18	1	2																
百日咳	1		1																			
ヘルパンギーナ	160	1	24	51	33	23	14	6	2	2	2	2										
流行性耳下腺炎	30			2	2	4	4	7	5	3	2		1									
眼科定点年齢区分	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	25				1	2	2	5	1		1		1	1	1	4	3	2	1			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1						1															
マイコプラズマ肺炎	5		1	1	1						1						1					
クラミジア肺炎	0																					

**大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域**

- ☀ 感染性胃腸炎：有明、人吉、八代
- ☀ ヘルパンギーナ：天草、水俣、菊池
- ☀ 突発性発しん：菊池、水俣、天草

咽頭結膜熱の(プール熱)流行が続いています

今週の報告数は 36件で、前週より若干減少しましたが、過去3年間の同時期に比べ、報告数が多い状況が続いています。特に菊池地域の患者報告数が警報レベルを超えて以来、12週流行が続いています。

咽頭結膜熱は、発熱、のどの痛み、目の充血等の症状が出ます。頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともあります。通常は3～5日で軽快しますが、この病気を引き起こすアデノウイルスには、多くの種類があり、7型と呼ばれるウイルスでは、時に重症化することがあります。症状がみられたら、安静にしておかりつけの医師の診察を受けてください。流行時には流水と石けんによる手洗い、うがい、感染者との濃厚な接触を避ける等、感染予防に努めてください。

咽頭結膜熱は、消毒が不十分なプールを介して子どもの間で流行することがあるため、「プール熱」と呼ばれることもあります。プールの利用に際しては、水泳前後にはシャワーを浴び、タオルの共用を避ける等の注意が必要です。熱が下がってもまだ体内にウイルスはいますので、症状が治っても2日間は、学校や保育園は休ませましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. Televitan

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課